

## 交通量等調査業務委託 特記仕様書

(適用)

第1条 本仕様書は、相模原市（以下「発注者」という。）が実施する「交通量等調査業務委託」（以下「本業務」という。）に適用し、土木設計業務等共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）に記載のない事項及び補足する事項について記載する。

(目的)

第2条 本業務は、相模原市内の道路の交通量等を調査し、市内の交通状況の変化を詳細に把握するとともに、道路改良事業の整備効果等の算出や、道路維持管理の基礎資料にすることを目的とする。

(業務対象箇所)

第3条 本業務は、別添位置図に示す19箇所を対象とする。

(提出書類)

第4条 共通仕様書第10条に記載のある関係書類は次のとおりとし、その他、提出が必要な書類については、監督員と協議し提出するものとする。

- ・業務計画書
- ・業務工程表
- ・テクリスへの業務実績情報の登録申請
- ・管理技術者及び担当技術者届、経歴書
- ・履行状況報告書
- ・業務完了届

(業務内容)

第5条 本業務の内容は、次に掲げるものとする。

(1) 計画準備

受注者は、共通仕様書第12条に基づき業務計画書を作成し、監督員に提出する。なお、業務計画書には、共通仕様書で定めた事項のほか、調査位置、調査期間の設定、調査員の配置計画、調査工程等についても記載する。

(2) 現地踏査

受注者は、調査地点を事前に踏査し、調査に支障のない安全な観測場所を設定すると

ともに、調査が適切に実施できるよう現地を把握する。また、調査員の配置を円滑に行うため、周辺交通網の渋滞や混雑等を考慮した移動手段も併せて検討する。

### (3) 諸官庁への手続き

受注者は、業務対象箇所の道路使用許可について、各調査箇所を管轄する所轄警察署にそれぞれ申請する。また、調査日当日は道路使用許可書を携帯する。

### (4) 調査準備・跡片付け

受注者は、あらかじめ調査員へ当該業務の概要、調査方法等を説明する。また、交通量等調査に必要な車両、資材、工具及び備品などを積卸し、その他一連の作業を含む出発前の準備又は調査終了後の跡片付けを実施する。

### (5) 交通量等調査

本仕様書第3条に規定する箇所の調査を実施する。調査項目、日時及び場所は次の事項のとおりとする。

#### ア 調査項目

調査項目は、自動車類（乗用車、バス、小型貨物車、普通貨物車及び原動機付自転車を含む自動二輪車）、自転車・歩行者類（原動機付自転車を除く自転車、歩行者）の交通量、自動車類の滞留長（単に交差点流入部に滞留した車列の長さ）、渋滞長（1回の青時間で捌けず滞留した車列の長さ）及び通過時間（渋滞長観測時に最後尾を走行していた車両が交差点を通過するまでに要する時間）とする。

なお、実際に観測する調査項目等は、別図1～9に示すとおりとする。

#### イ 調査日時

調査日は、原則として、休日、祝日、五十日（5日、10日、15日、20日、25日、30日又は月末日）を除く、火曜日または木曜日の7時から19時までの12時間とし、全ての調査は1日で終了するものとする。ただし、調査箇所ごとに調査日を分けても結果に影響がないと認められる場合は、監督員と協議の上、調査日を分けて実施しても構わない。また、台風等の異常気象の場合、その他通常と異なる交通状態が予想される日は避けるものとする。

#### ウ 調査方法

自動車類の観測作業について、交通量は、通行車を別表1に従って分類・区分し、1時間ごとに方向別、分類別に観測する。

滞留長、渋滞長及び通過時間は、10分ごとに観測する。

自転車・歩行者類については、歩道部と車道部のそれぞれについて、交通量を分類別（自転車、歩行者）に観測する。

また、現地調査は原則として道路上から行い、調査報告書の基となる観測野帳の作

成、交通状況等の確認を行うとともに、写真撮影にはデジタルカメラを使用する。

#### (6) 結果の整理

交通量調査については、時間帯別、方向別、観測分類別に1時間ごとの観測結果をとりまとめた集計表及び時間変動図に加え、方向別の交通量をとりまとめた流量図を作成する。また、滞留長、渋滞長、通過時間調査については、方向別に10分ごとの観測結果をとりまとめた集計表及び時間変動図を作成する。

#### (7) 照査

受注者は、共通仕様書第8条に基づき次に示す事項を標準として照査を行うこと。

- ・調査及び結果の整理が、本業務の特記仕様書等の設計図書に基づき適切に行われているか確認する。
- ・観測野帳等から本業務の報告書に間違いなく数値等が転記されているか確認する。

#### (8) 報告書作成

報告書は、現地調査した結果を電子データにより作成し、それを印刷、製本する。また、報告書には次の事項を記載すること。

##### ア 業務概要

調査目的、調査地点、調査日時及び調査内容を記載すること。

##### イ 調査地点案内図

調査地点名を記載の上、任意の地図上に自動車類交通量、自転車・歩行者類交通量及び渋滞長の観測方向を矢印等で示したものを、全ての調査地点について作成すること。加えて、調査地点の位置が分かるように、任意の地図上に該当箇所の位置を示した地図も掲載すること。

##### ウ 結果の整理

調査地点ごとに、以下に示すもののうち、調査を実施した項目についてとりまとめること。

##### (ア) 自動車交通量集計表

観測する断面ごとに、進行方向別、流入計、流出計及び流出入計（断面計）の交通量を1時間ごとにそれぞれ集計すること。

##### (イ) 自動車類交通量時間変動図

観測する断面ごとに、流入計、流出計及び流出入計（断面計）について、1時間ごとの変動図をそれぞれ作成すること。

##### (ウ) 自動車類交通流動図

12時間の合計及びピーク時（全進行方向を合算した自動車類交通量が最も多い1時間）のそれぞれについて流動図を作成すること。

(エ) 自転車・歩行者通行量集計表

観測する断面ごとに、方向別及び断面計の通行量を1時間ごとにそれぞれ集計すること。

(オ) 自転車・歩行者通行量時間変動図

観測する断面ごとに、方向別及び断面計について、1時間ごとの変動図をそれぞれ作成すること。

(カ) 自転車・歩行者通行流動図

12時間の合計及びピーク時(全進行方向を合算した自転車・歩行者類交通量が最も多い1時間)のそれぞれについて流動図を作成すること。

(キ) 渋滞長等集計表

各流入部において、滞留長、渋滞長及び通過時間を10分ごとにそれぞれ集計すること。また、渋滞長が生じた時間帯については、渋滞の発生要因を記載すること。

(ク) 渋滞長等時間変動図

各流入部における滞留長、渋滞長及び通過時間について、10分ごとの変動図をそれぞれ作成すること。

エ 観測状況写真

各調査地点について、調査地点名、調査年月日、調査時間等の情報、地点案内図及び調査実施状況等の写真を掲載すること。

(9) 協議打合せ

本業務に関する発注者との打合せは、発注者の所在地、又は監督員が指定する場所で原則対面協議により行う。実施時期は、業務着手時1回、中間時1回、成果品納入時1回の計3回を基本とする。なお、中間時打合せは発注者または受注者が必要と判断した場合において随時実施するものとし、特に軽微なものについては、Web会議形式により実施することも可能とするが、Web会議とした場合の必要経費(受注者側で用意するインターネット回線やパソコン、カメラ、マイク等の機材)については、発注者は負担しないものとする。

(成果品)

第6条 共通仕様書第17条に基づく成果品は、下記に掲げるものとする。

- ・観測野帳 1冊
- ・報告書 1冊
- ・報告書の電子データ 1式

2 受注者は、発注者の指示により成果品を整理した上、納品し、電子データの拡張子及

び提出媒体は別途協議するものとする。

- 3 電子データには、報告書、交通量等調査の集計を行うために使用した表計算等のデータのほか、監督員から別途作成を指示したデータも併せて格納する。
- 4 成果品は全て発注者の所有とし、その著作権は全て発注者に帰属するものとする。
- 5 受注者は、発注者の承認を受けずに成果品を他に公表、貸与、使用等してはならない。

(発注者が貸与する資料等)

第7条 受注者は、貸与を受けた資料等の品目、数量を明記した借用書を発注者に提出するとともに、資料等の使用、保管に注意を払う。

(調査員への周知)

第8条 受注者は、本業務に従事する調査員に対し、本仕様書第5条に規定する調査内容及びその他の必要事項について、調査実施時に遺漏のないよう、事前に周知徹底を図る。

(通則)

第9条 受注者は、主要な作業の進捗状況を遅滞なく発注者に報告しなければならない。

- 2 本業務のために使用する器具、消耗品及びその他雑品等は、全て受注者の負担とする。
- 3 本仕様書について、発注者と受注者の相互間に疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、その都度発注者と受注者が協議の上、定めるものとする。

以 上

別表 1（第 5 条（5）ウ関係）

区 分	分 類	内 容
小型車	乗用車	5 ナンバー（黄と黒のプレート）
		3, 8 ナンバー（小型プレート）
		3, 5, 7 ナンバー
	小型貨物車	4 ナンバー（黄と黒のプレート）
		3, 6 ナンバー（小型プレート）
		4, 6 ナンバー
大型車	バス	2 ナンバー
	普通貨物車	1 ナンバー
		8, 9, 0 ナンバー
二輪車		原動機付自転車を含む自動二輪車

※外交官用車両（外交団用、領事団用、代表部用）、在日米軍用車両、自衛隊用車両、臨時運行車両、回送運行車両等独自の番号を付しているものは、それぞれの形状、寸法に応じて車種を想定し、自動車類に含めて観測する。